

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。  
お水取りが終われば春。梅とともに春を待つ日々いかがお過ごしでしょうか。  
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、  
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。  
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、  
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

- 1 内田聖子さん TPP 学習会 参加報告
- 2 きゅうしょくカンガルー！交流会&総会 開催のお知らせ

■ 1 ■ 内田聖子さん TPP 学習会 参加報告

今回は少し目先を変えて、日本の農や食に大きな影響を与える TPP について学習会に参加した報告をしたいと思います。

講師は、NPO 法人アジア太平洋資料センター（通称 PARC：パルク）事務局長の内田聖子さん。アメリカ合衆国でトランプ大統領が誕生し TPP からの撤退を表明したため TPP は実質崩壊の情勢ですが、これで日本の農や食は安心なのでしょうか？「TPP、その後」と題したお話をお聞きしました。

TPP とは、環太平洋パートナーシップ協定（Trans-Pacific Partnership）の略で、環太平洋地域の 10 か国以上の国々による経済の自由化を目的とした多角的な経済連携協定です。24 分野について関税や非関税障壁（関税以外のルール）の撤廃をめざすとされ、その中身はもとより、徹底した秘密主義や、ISDS 条項が問題視されています。

・徹底した秘密主義・・・国民への説明や情報公開よりも「各国との秘密保持契約」が上位に置かれるため、どのような協定が結ばれようとしているのか知ることができない。

・ISDS条項・・・例えば外国企業が日本に輸出しようとしたとき、政府が非関税障壁（外国企業を不当に差別するような制度や法律）を設けている場合に賠償を求めることができる条項。しかし自国の法や安全基準よりこの条項が優先されることへの危険性が指摘されている。

では TPP の内容にはどのような問題があるのでしょうか。

まず「農業」。「関税撤廃」を原則とする内容で国内農業は大きな打撃を受け、現在約 40%の自給率は TPP によって約 15%まで下がるという農水省の試算もあったそうです。また、遺伝子組み換え作物の貿易が拡大する懸念も大きいです。

「食」の安心・安全では、「輸入を拒否するためには、科学的な危険性を完全に証明しないと規制できない」とされ、各国が安全確保のために「予防原則」に基づいて行っている措置が排除される恐れがあります。遺伝子組み換え作物、食品表示、農薬、添加物などの規制、BSE 検査などが後退する危険性が高いのです。

日本では 2016 年 12 月 9 日、衆議院にて TPP 協定・関連法案 11 本が可決されましたが、その後米国の TPP 撤退により実質 TPP は崩壊に至りました。ではもう上記の危険は去ったのでしょうか。

今後、日米は 2 国間協定を結ぶ可能性が高くなります。また、東アジアの 16 か国が「東アジア地域包括的経済連携（RCEP：アールセップ）」という自由貿易協定を結ぼうとしています（日本も入っています）。このような協定を結ぶ際に、TPP の条件＝2016 年 12 月 9 日に衆議院で可決された内容を土台に話が進められる可能性が高いのです。つまり「TPP はなくなっても、日本に TPP と同じ状態をつくられる」危険が大きくなります。

政府は世界で勝てる「強い農業」を進めたいようですが、ふつうの人が食べるものをふつうに作り続けることができる、それが本当の「強い農業」「強い国」ではないのでしょうか。これからも一緒に考え、行動していきましょう。

NPO 法人アジア太平洋資料センター <http://www.parc-jp.org/>

---

■ 2 ■ きゅうしょくカンガルー！交流会&総会 開催のお知らせ

---

◇きゅうしょくカンガルー！交流会&総会「なないろ畑へいこう！」

日時：4月8日（土）11:00～14:00

場所：御所市朝妻 なないろ畑

詳細：チラシ添付

---

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail：oishiikyusyoku@gmail.com

facebook：<https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局：生活協同組合コープ自然派奈良内（奈良市今市町40-1）

---